

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2013.03) 平成23年度:51.

看護師を対象とした倫理的ジレンマに関する研修についての分析

小倉笑子、田中理佳、笹田豊枝、阿部泰之、佐藤とも子

看護師を対象とした倫理的ジレンマに関する研修についての分析

○小倉 笑子¹⁾、田中 理佳¹⁾、笹田 豊枝¹⁾²⁾、阿部 泰之²⁾、佐藤 とも子¹⁾

¹⁾ 旭川医科大学病院看護部 ²⁾ 旭川医科大学病院緩和ケア診療部

【研究目的】

大学病院で勤務する看護師を対象とした倫理的ジレンマの研修結果を分析することで、今後の研修の在り方についての課題を検討する。

【方法】

2010年10月に「日常看護場面における倫理的ジレンマへの取り組み方—がん患者に焦点をあてて—」というテーマで研修を90分間行った。内容は倫理的ジレンマに関する考え方を紹介したのち、事例を用いた倫理的ジレンマへの具体的看護展開、看護師がストレスの状態を自己評価・対処するためのツールを解説した。研修終了時にアンケートを任意記載、回収率90%（看護師20名中18名が回答）であった。アンケート内容からコードを抽出し、質的分析を行った。倫理的配慮として、個人が特定されないように配慮し、発表内容に関して所属施設に了承を得た。

【結果】

23のコード、15のサブカテゴリから、4つのカテゴリ「具体的な知識の獲得」、「具体的な対処方法の習得」、「倫理的ジレンマに関する詳細な内容を知ることへの希望」、「臨床看護への意欲の向上」を得た。

【考察】

看護師は倫理的ジレンマについて関心を持っており、研修によって具体的な知識や対処方法を知ること、臨床看護への意欲につながったと考えられた。今後の課題として、今回の参加者が実践場面で倫理的ジレンマへ対処できているかという評価や、倫理的ジレンマに関してさらに知りたいというニーズを充足する機会の検討が示唆された。